

済美南地区地域ミーティング  
(通算第81回)

開催日	平成27年7月30日(木)
開催時間	午後7時～午後8時30分
会場	春日公民館 済美南分館
参加者	43名



地 域 課 題	市 の 回 答
1. 市の災害情報メールの周知や、災害時における地区内の介護施設・企業・自治会未加入地域への情報の提供の仕方について	1. 同報系防災行政無線は、今年度の4月から本格運用している。情報配信メールは登録していただく。ならドットFMと連携した緊急告知ラジオは300台を配布予定している。介護施設、企業については、市民に普及してから個別に対応する。要援護者の「医療キット」は、今年度も配布させていただく。
2. 災害時のラジオの効果的な設置場所について	2. 最近避難所を開設しても避難される方が少ないので、運用については状況を見て、避難所や自主防の会長様宅等を含めて検討していく。
3. 新法制での「避難行動要支援者」の制限に不安を抱えていることについて	3. 法改正によって、「避難行動要支援者」の対象に入らなくなった方が多くいる。その方々の情報を地域の関係者に提供してよいか、確認していく予定である。市としても制度を見直し、必要な方については追加で登録できるようにしたい。
4. 現在民生委員が担当している放課後子ども教室の地域内の応募者不足について	4. 学校教育は、教員だけではなく、地域の方々にも支えてもらいながら進めることが大事だと考えている。放課後子ども教室は行政の仕事であるので、地域みなさんに助けてもらったことは感謝し、行政もどのような情報を出していくのか、パートナーシップをしっかり持っていきたい。

<p>5. 高齢化に伴う自治会の弱体化や自治会間格差等、今後の地域活動に関する課題について</p>	<p>5. 役員の高齢化や活動のマナー化などの問題は、多くの地域で課題となっている。内閣府による意識調査によると、今後高齢化が進んでいくものの、地域活動に参加したいと考える方々が多く存在すると推察される。</p>
<p>6. 地域活動の後継者不足について</p>	<p>6. 地域の様々な知識・経験をもつ方や、ボランティア活動等に関心がある方が多くいる。その方が地域活動に参加しやすいよう、情報提供の充実や地域社会の一員であるという認識を高める機会を通して、新たな仲間づくりをしていただくことが大切だと考えている。</p>
<p>7. 新しいまちづくりとしての「地域自治協議会」の取り組みについて</p>	<p>7. 済美南地区を含む市内10地区において、地域コミュニティワークショップを行い、地域の課題等について、ファシリテーターを派遣し、住民の皆様方の意識の向上を図っている。今後は地域内の連携を拡げていただき、「地域自治協議会」という仕組みで、地域課題を共有して将来ビジョンを立案し、まちづくりを進めていただきたい。</p>
<p>8. 交差点のカラー舗装、道路舗装明示、スピード抑制策のための看板設置、危険な横断歩道の見守り活動等、通学路の安全対策について</p>	<p>8. 昨年度から通学路の交通安全対策プログラム委員会を立ち上げ、危険箇所のリストを作成した。今年度、済美南地区からは4箇所の危険箇所が挙がっており、安全プログラムの中で対策をしようと動いている。8月6日にも現地の確認の場を持つ予定である。</p>